

#### (4) 調査結果

計画道路が通過する急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等（指定予定）（以下「斜面」といいます。）の現状は、図 10.5-3 に示すとおりです。

##### ア 地形・地質の状況

計画道路は、東京都八王子から神奈川県川崎市まで北西－南東方向に延びる多摩丘陵の北部に位置しており、計画路線が通過する地域の大部分は、宅地やゴルフ場等による人口改変地となっています。

斜面①②（多摩東公園交差点付近）、斜面③（東坑口付近）、斜面④（向陽台小学校付近）及び斜面⑤（堅谷戸大橋交差点付近）の現況は図 10.5-3 及び図 10.5-4 に示すとおりであり、暫定整備されている南多摩尾根幹線や沿道施設の開発に伴い形成された斜面となっています。



写真10.5-1 斜面①② (多摩東公園交差点付近)



写真10.5-2 斜面③ (東側坑口付近)

図 10.5-3 (1) 計画道路が通過する土砂災害警戒区域等の指定予定箇所(現況写真)



写真10.5-3 斜面④（向陽台小学校付近）



写真10.5-4 斜面⑤（堅谷戸大橋交差点付近）

図 10.5-3 (2) 計画道路が通過する土砂災害警戒区域等の指定予定箇所（現況写真）